

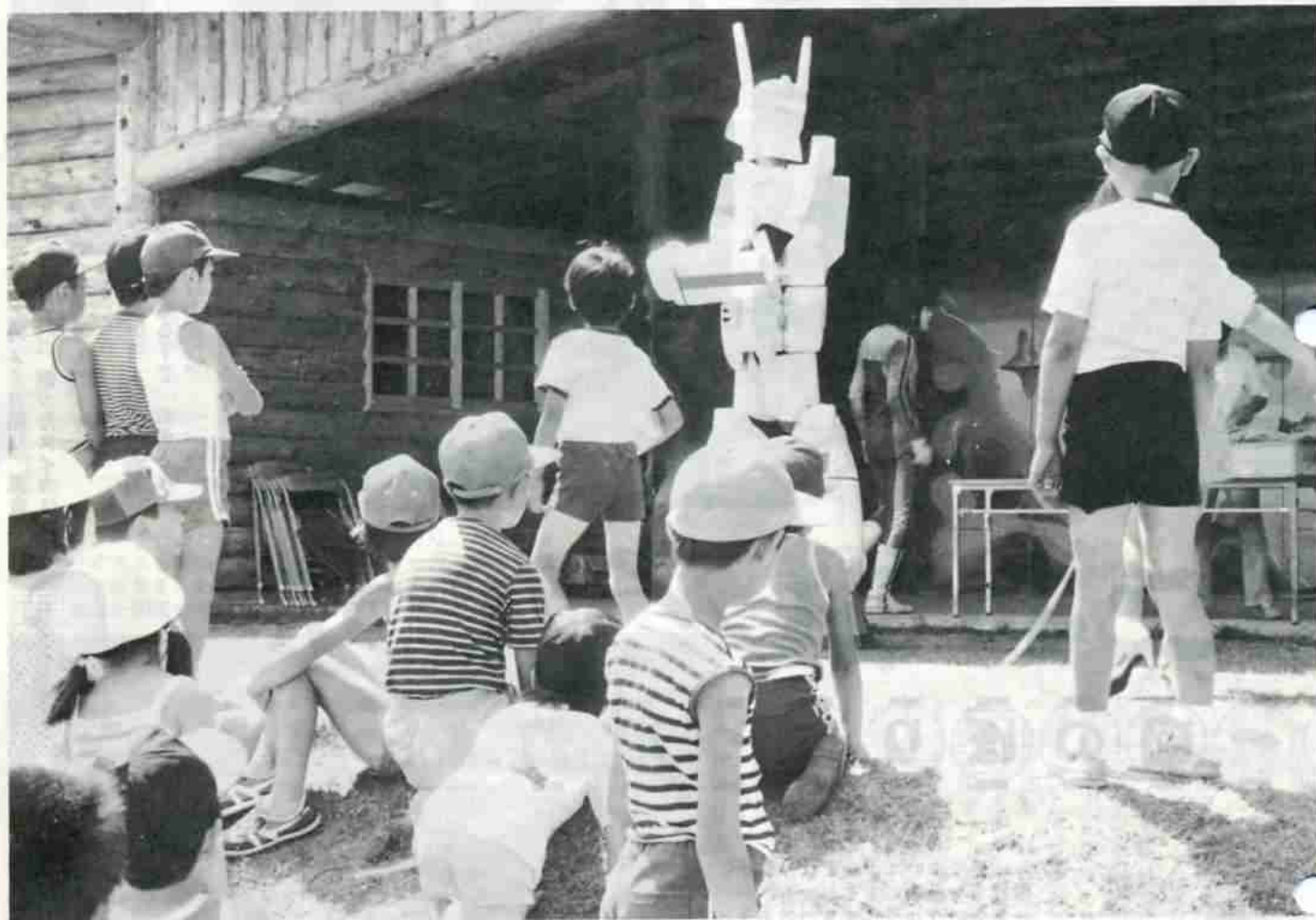
広報

# のぼり

## 主な内容

- 踊った・歌った・おもしろかった（第1回のぼりべつ提灯まつり）…… 2・3P
- まだまだ若いもんには負けんよ 9月15日～21日は老人福祉週間…… 4・5P
- 郷土史探訪 ⑧ 富浦町1 …… 6P
- 青年の国内研修参加者を募集…… 8P

● No.378 ● 昭和58年9月1日発行 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部公聴広報課 ● 印刷/日光印刷



## 歓声ひびく ダム湖畔

### 森と湖・こどもまつり

紺碧の空が広がった8月6日。幌別ダム川上自然公園で、登別青年会議所主催による「森と湖・こどもまつり」が開かれました。

子供たちに、森と湖をバックに大自然と親しんでもらおうと企画されたもので、テレビアニメのマクロスショー、親子つり大会が行われ、小動物園ではアヒル、うさぎ、子牛、羊とたわむれる子供たちでにぎわっていました。

昭和56年から幌別ダム下に9.5ヘクタールの川上総合公園の造成工事が進められており、レークハウス周辺からダム下へと広がります。子供たちの夢をかなえ、緑と自然を生かした自由に遊べる公園。夏はサッカー、冬はスケートリンクになる多目的広場を中心に野球場、テニスコート、レクリエーション施設を備えた公園完成に向けて着々と進んでいます。子供たちの未来を考え、子供たちが誇れるふるさとづくりをめざしています。

9 '83  
1



◀ 炎天下のどじょうつかみ。涼しげなこのゲーム、追う子供も、逃げるどじょうも真剣そのもの。結果は数十分で全部のどじょうがとられの身となっていました。



▶ 目かくししてのスイカ割り。気合いととも真二つ。割ったスイカはおみやげになりました。  
昔から変らないヨイヨイの人氣。白熱電球が灯もる下で、お母さんと一緒にヨイヨイ遊び。



# った・おもしろかった

## 第一回のぼりべつ提灯まつり



▶ 歩行者天国には、ミニ牧場も設けられ、かわいいヒツジ3頭が、チビッコたちのお相手をしていました。

▶ 「早くまいてよ。となりの子に負けちゃうよ」トイレットペーパーを体にグルグルまきつけるミイラゲーム。どの子の顔も生き生きと輝やいていました。



▶ 郷土芸能「鉾山しし舞い」の熱演に、まつり好きのおばあさんが飛び入り参加。ししもタジタジの一場面でした。





まつりのメインイベントは、やっぱり鬼おどり大群舞。百太鼓が打ちひびくなか、色とりどりの提灯山車や地獄まつりの山車も参加し、まつりも最高潮。二日間で約千六百人のかたがたが踊りに参加しました。

大にぎわいだっただ露店。やきとりあり、わた飴ありで大人も子供も大喜び。ムードメーカー青年会議所のみなさんも、白石市名物「うーめん」のPRを兼ねた即売会で大サービスをしていました。

# 踊った・歌

郷土登別を愛する心を一層高めようと、第一回のぼりべつ提灯まつりが8月6・7日の両日、真夏の太陽がキラつく絶好のまつり日和の中で盛大に行われました。歩行者天国となった、メイン会場の富士橋大通りと銀座通りでは、どじょうつかみやカラオケ大会、郷土芸能のひろうなど、盛りだくさんの催し物が行われ、親子づれや若い人たちが終日にぎわっていました。日が沈み、約四千個の提灯に一斉に灯が入れると、情緒豊かな淡い光が真夏の夜空に広がり、まつりのムードは一気に高まります。地獄ばやしと百太鼓のリズムにあわせ、約八百人の市民が会場せましとねり歩く鬼おどり大群舞で、提灯まつりは最高潮に達しました。大勢のみなさんが、歌に踊りに心ゆくまで楽しんで、まつりのもようを写真で紹介しています。



カラオケ大会での熱唱

# いもんには負けんよ

## 9月15日～21日は老人福祉週間

日本人の平均寿命は、男性 74.22歳、女性 79.66歳。我が国は、アイスランドと並ぶ世界有数の長寿国です。

今、登別市には、65歳以上のかたが、約4800名います。このお年寄りのかたがたが、健康と毎日の生活に少しでも不安を感じているとしたら、長寿を素直に喜べない...ということになってしまいます。

市では、こうしたお年寄りに安心して暮らしやすい生活を送っていただくよう、きめ細かな福祉行政をおし進めています。

例えば、コミュニケーションの場としての老人福祉センター、老人憩の家の増改築、カルルス温泉での一日湯治、老人医療無料化を69歳まで引き下げるなど。

しかし、施設や制度の充実だけで生きがいのある老後を得られるでしょうか。

それは、お年寄りを取り巻く地域社会、家庭という「温

かい器」を私たちが創り上げてこそ解決するものだと思います。

さらに、お年寄り自らが、時代とともに生きる意欲を高め、豊かな経験と知識を社会活動に役立たせることも不可欠です。

老後——。だれもがいつかは通る道です。

この週間を機会に、まわりにいるお年寄りのこと、私たち自身の老後のことを、真剣に考えてみることも、必要ではないでしょうか。

市内には、仕事や社会奉仕活動に意欲的に取り組んでいるかた、趣味・創作活動に没頭しているかた、スポーツに汗を流しそれぞれに生きがいを見出しているかたが大勢います。

今号は、その中から仕事を持って第1線で活躍しているお年寄りにお話を聞いてみました。

### 庭造りに腕をふるって

三野宮 盛夫さん(69歳・片倉町)



登別市高齢者事業団に入会し、庭木のせん定作業に励んでいます。

永年の経験と、身につけた技術を生かした仕上がりが好評です。

多くのかたに喜んでいただける仕事を心がけ、意欲的に毎日の生活を送っています。

庭師を志したのは、亡父の血を引いたからでしょうね。

二十五年間、経営してきた洋服店をやめて、五十八歳のとき、札幌に修業に出かけたくらいです。

一年間厳しい修業を続けて、富良野市へ帰り、庭師として働いていました。

昨年、娘のいる登別市で隠

居生活を送ろうとやってきましたが、もともと体を動かすことが好きですので、健康増進もかねて「登別市高齢者事業団」に入会したんです。

ハサミを握れる毎日の生活は、楽しくてしかたがありません。

朝の三時に仕事に出かけることもありますが、つらいと思つたことはありません。

反対に、せん定が終わってみちがえるようになった木や、完成した庭を見ると、なんともいえない充実感があり、生きがいを感じます。

自分のすきな道で、いままでの技術をいかんなく発揮でき、皆さんに喜ばれるなんてこんな幸せなことはありません。

### 子牛の成長が楽しみ

近井 勇(83歳・札内町)

明治三十三年、札内に生まれ、電灯がともり、不振の



磯野 八十八さん (71歳・富岸町)



中沢 ステさん (73歳・富士町)

### サークル活動で生きがいをみつけた

九月に開催が予定されているゲートボール大会を目指して、朝早くから起きて練習にがんばっています。

気軽に楽しめる競技ですから、練習場には多くのかたが集まっています。

自然と友だちも増えますし、色々な話もできて、とても楽しいです。

何といっても健康にいいですよ。

魚拓愛好者で拓友会という会を作り、月一回講師の先生

# まだまだ若い



## 温かい職場がうれしい

管野 ヒロイさん(68歳・常盤町)



登別市と、ゆかりの深い白石市で生まれ、昭和二十年、御主人とともに転入。  
その後、四人の子どもを立派に育てあげ、水産加工の仕事に精一杯がんばっています。  
職場のかたの思いやり、優しささふれ、毎日を楽しく過ごしています。

昭和二十年、主人とともに宮城県の白石市から移ってきました。  
働くようになったのは、主人が病気をし、少しでも子供たちの学資の足しにしたいと考えたからです。二十一年間、六十三歳まで勤めました。  
その間、四人の子どもは、それぞれひとり立ちし、今で

は孫が十人もいます。  
勤めをやめた後、ゆつくりと老後の生活を送るよう子どもたちに進められ、趣味の人形づくりに精を出しました。  
働くことが好きですので、健康の増進と、社会の役に立つことをしたいと思ひ、主人や子供たちに協力をお願いして、水産加工場に勤めました。  
生活に張りが出て、毎日を生き生きと楽しくしています。  
もともと仕事が好きです。つらいとかいやだとは思ったことがありません。  
職場のふんい気も、明るくなによりも、皆さんが温かく優しくしてくれるのがうれしいのです。

## まだまだ現役で

宇佐美 政雄さん(70歳・富浦町)



朝早くから、息子さん・お孫さんとともに、二十六頭の牛の飼育にがんばっています。  
広々とした札内高原の、大自然の中で毎日楽しく仕事に精を出しています。  
十五歳のときから、親と一緒に野に出て仕事をしていました。当時は、畑作をやっている、主に大豆・馬鈴薯などを作っていたんです。しかし、農地として不向きだったこと、水の便が非常に悪かったなどの悪条件の下、厳しい生活ではありましたが、明日を夢見ながらがんばったものです。  
昭和三十七年頃、水道が引  
と見渡すかぎりの大草原で牛が  
ゆうゆうと放牧されている姿  
に、心がなごんだことを思い  
出します。  
今では、もう息子や孫たちが  
大きくなり楽隠居の身なん  
ですが、自然にからだは動い  
て仕事をしているんですよ。  
毎朝、二十六頭いる牛を、  
家族と一緒に世話をするのが、  
楽しくてしかたがないんです。  
特に、子牛が生まれ、日に  
日に成長していく様子を見て  
いると、喜びと生きがいを感じ  
ますね。  
長生きねー。おいしい空気を  
一杯吸って、労をおします  
働くことじゃないかな。

十三歳で船に乗って以来、五十八年間、漁業一筋に取り組んでいます。  
大海原で魚を追ひ、網をかけ、巻き上げる手こたえに生きがいを感じています。  
「足腰の立つあいだは、現役で働きますよ」と意欲を燃やしています。

漁師になろうと思ったのは、兄のいか釣り船にはじめて乗り込んだときなんですよ。  
いまだにあのときの感触・興奮が忘れられませんね。  
その後、かに工船などに乗り、ほうぼうの海を渡り歩き修業してきましたよ。

自分で網をもったのは十五歳のときだったよ。  
今はもう、息子にまかせてのんびりとしていられるんだが、海が好きでじっとしていられないんだよ。  
それに、まだまだ若い者に負けない体力もあるし、永年の経験も役立たせたいと思っているからね。  
一日の漁が終わって、ひ孫の顔をみながらお酒を飲むのがまた楽しみなんだよ。

会員のかたも、好きな人ばかりです。とても上達が早く、和気あいあいの中にも意欲的に美の勉強に取り組んでいます。  
まだまだボケてられないし、大きな心のはりとなっていきます。



樋口 友子さん (63歳・美園町)



松尾 トミさん (63歳・美園町)

松尾さんー民謡サークルに入っています。  
先生を招いての本格的なおけいこは、やはり緊張しますね。  
覚えなくては、おけいこについていけませんので、皆さん真剣です。  
サークル活動に通うようになってから健康になりました。また、毎日の生活が楽しくてしかたがありませんよ。  
樋口さんー今までは、家の中に閉じこもってばかりいたんです。  
民謡サークルに入会してからは、多くの友だちができ、とてもうれしいです。  
おなかの中から大きな声を出して歌うと、とても気持ちがいいですね。  
これからは、サークル活動のほか、色々な行事に積極的に参加したいと思っていますよ。

# ふれあい 広場

今月のテーマ  
私の健康法

夏も駆け足で過ぎてしまい、季節の変わり目にはカゼなどをひかないような注意が必要です。  
そのためにも食事や運動など毎日の健康管理が不可欠なものとなります。そこで今回は、健康法についてのご意見をみなさんから寄せいただきました。

## 六十四歳の水泳との出会い

日頃の運動不足で肥満の私は、運良く今年の婦人水泳教室に参加出来たのです。  
なにしろ、六十四歳にして初めてプールに入ったので、水が恐くて水中に潜ったり立つことは、全く出来ませんでした。  
若い方は、すぐに覚えるのですが、私は四日目にやっと立てるといふ始末でした。



それがです、私の末の子より若い先生がたの上手な指導で、あの「飛びこみ」が出来たのです。一寸命がけでしたが……  
十回の教室も仲間のみなさんと無事終了し、今では週二回、雨が降っても、せつせとプール通いです。

背泳は、下手ながら二十五分泳げるようになり、クロールは、いまだバタ足と呼吸がうまく出来ず練習中です。  
近いうちに主人や孫とプールでスイスイが楽しい夢です。

まさかこの年で泳げるようになったとは、まったくうれい限りです。  
先生がたと仲間のみなさんに感謝一杯の毎日を送っています。  
(新川町・主婦・岩城嘉代)

## 黄昏ソヨギング

私は、健康は体力からだと考えています。  
夕方、仕事から帰ると「黄昏ソヨギング」と称して、家から川上公園まで走ります。  
当然、体の調子に合わせて走るので、途中、休むことはたびたびですが、休みながらも目的地を目指します。

最近では慣れたせいか、一緒に走る友人と話しをする余裕も出て来しくなりました。  
また、緑あふれる自然の中で、いい空気を吸いながら汗を流すというところが、自分にとってとても幸せなことだと感じています。

そして、なによりも最高に幸せと感じるのは、帰ってからの風呂とビール、食事です。  
ややもすると、食べ過ぎるきらいもありますが、汗をかいたあとの楽しい食事は、何物にもかえがたい気がします。  
黄昏ソヨギング、今、私にとつ

最高の健康法です。  
(片倉町・会社員・太田修一)  
朝のうがいは「あいうえお」  
私の日課は、朝のうがいで始まります。

毎朝、ぬるま湯でうがいをするのですが、ただのうがいではなく、口にぬるま湯を入れたままで、「あいうえお、かきくけこ……」と発声をしながらのうがいです。  
この方法だと、ノドの開き具合が変ってとてもいいと思うのです。

ちよつとへんとう腺がはれたなと思うときには、予防になるので姉の子どもたちにも勧めたところ、とてもいいみたいです。  
このうがい、私のちよつと自慢の健康法です。  
(若草町・OL・佐々木光恵)



## お待ちしています

十一月のテーマは、「わが家の家宝」です。  
どの家庭でも、これはという大切な家宝があると思います。  
絵画、コイン、つばなど家庭で珍重されている家宝をお気軽に紹介ください。

▽締切日 10月10日まで  
▽連絡先 電話またはハガキ、封書で市役所企画広報課へ。(TEL 2111 内線222 TEL 9103 登別市中央町6丁目1番地)

# 郷土史探訪

83 富浦町 I

## ランボツケ 昔の富浦町を訪ねて

陸地に流入した豊かな所、といふ意味の「富浦」という地名が誕生したのは、昭和九年の字地名改正の時からで今日まで約五十年、半世紀の時を経過しています。  
当時、人口の多かった幌別も、前浜は砂浜で海深も急に深く、海が少し荒れると海岸の波が高くなり出漁出来ないのに比べて、富浦岬は特に「やませ」と呼ばれる当地特有の風を防ぎ、岩礁も多いことから登別市で最も古い漁業基地として栄えました。

「岬が突きで陸地に流入した漁業の豊かな町」として名づけられた富浦町の現在は、漁船の多くが登別漁港に停泊しているため、船数も少なく町も変容しつつあります。  
現在でも住民の多くの人達は漁業を営んでいます。

サトヲカシベツ、モセウシナイ、ランボツケなどの地名が大体現在の富浦町、新栄町ですら当時の富浦町は広大な地域でした。  
ただ不思議なことには、行政区画内に富浦の地名を捜してもみられないことで、このことは、富浦町の前身をよく物語っているように思われます。

富浦の地名を「ランボツケ」、「ランボツケ」と呼ぶ人は、最近登別でも少なくなくなりました。  
富浦町の地名の歴史は、現在まで約半世紀ほどで、昭和九年まではランボツケ「蘭法華」と呼び、約七十年の時を経過しています。  
正確には富浦の前身、ランボツケの呼称は、登別地方を通った箱館奉行の役人や幕吏、そして多くの蝦夷探検家の書き残した資料から江戸時代にさかのぼります。

また、クツタラ火山噴出物に関連するランボツケ層という厚い火山灰層が地質学的に命名されていることから、その呼称はなかなか消えそうもありません。  
ランボツケの地名がいつから呼称されたのかは正確にはわかりませんが、語源が山田・知里先生紹介のアイヌ語地名「ラン・ボツケ」の・下と解しておられ、富浦町一丁目の通称七曲り坂を降りた地点から川の周囲にかけて、昔、コタンがあったので場所的にはこれらの地域であることはわかります。  
古い富浦を理解するために江戸時代の資料を紹介し、みなさんと一緒に考えてみましょう。  
安政三年(一八五六年)幕府から蝦夷地調査を命じられた市川十郎の野作東部日記には、「豊発氣、山中平地多下りならか也、橋の木ことに多し、楢坂とも云うへき所なり、ランは下ること、ボツケは上ること、海岸出崎の山にてのぼりくだりする所」と説明され、また、文中の幌別の項には、「運上屋(幌別町二丁目付近)より一里二町二十間にて良武保介なり、今の一里榜のある所は本名、茂勢牛内にて、良武保介の旧地は海岸にありて……」と紹介されています。  
ランボツケの地名が漢字で、寛発氣、良武保介と書かれ、富浦町内にモセウシナイの地名が表われ、ランボツケの場所的な差が表われるなど、一つの資料をみて、も昔の富浦の興味はつきません。  
登別市郷土文化研究会  
宮武 神一記



大正期の富浦町、国鉄室蘭本線

## 多数ご参加ください 第7回 登別市消費者大会

登別消費者協会では、「健康とシニアのデスト室長である剣崎比くらしの安全を求めて」をテーマに出雄氏をお迎えして「食品添加物と安全性について」の講演が行われます。

食品添加物についての知識を身につけ、賢い消費者となるため、みなさん多数ご参加ください。  
なお、当日は、北海道消費者センター

## スポーツの秋

お気軽に  
ご参加ください

## バドミントン 初心者教室

市教育委員会では、次のとおり初心者バドミントン教室を開催します。

▽期間 9月27日～11月1日まで  
の毎週火・金曜日（午後6時30分～8時30分）

▽場所 市総合体育館

▽対象者 市内にお住まいのかた

▽募集人員 30名（先着順）

▽経費 380円（スポーツ傷害保険料）

▽申込先・期限 市総合体育館（☎5552）へ9月20日（木）まで電話で申し込みください。

※参加者は、ラケットをご用意ください。

参加チームを募集し、市民ソフトボール大会

市教育委員会では、次のとおり市民ソフトボール大会を開催します。

参加料 3000円（昼食は用意してあります。）  
▽参加申込先 登別消費者協会（幌別生活館内・☎4993）



スポーツの秋、みなさん多数ご参加ください。

▽開催日 女子の部：9月23日（秋分の日）、男子の部：9月25日（日）

▽場所 市営日の出野球場

▽対象者 市内に居住または通勤するかたで編成したチーム（ただし、野球連盟、朝野球同好会に登録しているチームや学生は除く）

▽チーム編成 一チーム：14名

▽試合方法 トーナメント方式

▽申込先・期限 市総合体育館に所定の申込用紙がありますので、必要事項を記入のうえ、9月17日まで申し込みください。

※詳しくは、市総合体育館へお問い合わせください。（☎5552）

## 会員を募集します

市内のおかあさんコーラスでは、会員を募集しています。経験のないかたでもお気軽に参加してコーラスの輪を広げてください。

申し込み お問い合わせは次のとおりです。

## 敬老の日になんで 敬老年金をお渡しします

毎年9月に、お年寄りに敬意をあらわし、あわせて福祉の増進をはかるため、65歳以上のお年寄りに敬老年金をさしあげています。

支給額は次のとおりです。

○65歳～69歳 4,000円 ○70歳～79歳 6,000円  
○80歳以上 12,000円

今年は、次の日程でお渡ししますので、お受け取りください。

※対象者には、あらかじめはがきでお知らせしていますが、9月8日をすぎても届かない場合は、社会課へご連絡ください。（☎2111内線291）

### 〈敬老年金支給日程表〉

	午前 10:00～12:00		午後 1:00～4:00	
	会場	地区	会場	地区
9月13日（木）	老人福祉センター	富士町、柏木町、片倉町、新川町	老人憩の家 桜木の家	極楽町、栗原町
	老人憩の家 あかしやの家	大和町、石山町、2丁目	老人憩の家 桜木の家	極楽町、栗原町
9月14日（金）	オロフレ荘	さくら町	登別温泉支所	登別温泉町、登別町、登別町、登別町
	老人憩の家 白樺の家	中登別町	登別公民館	登別町、登別町、登別町
	老人憩の家 富田の家	富田町	幌別生活館	幌別町
	富田中央公民館	中央町、常盤町、千歳町		
9月16日（土）	老人憩の家 藤原の家	若草町	老人憩の家 栄町1,2丁目	栄町1,2丁目
	老人憩の家 藤原の家	若草町	老人憩の家 富田町3,4丁目	富田町3,4丁目
9月19日（火）	老人憩の家 藤原の家	栄町3,4丁目	老人憩の家 旭ヶ丘2丁目	黄瀬町
	老人憩の家 藤原の家	新上登別町	登別公民館	登別町
宅配		上登別町、札内町、釜山町、川上町、東馬町		

## 市民プールから

登別市民プールを利用されるかたは、次のことを守るようにお願いします。

- ▽参加申込先 登別消費者協会（幌別生活館内・☎4993）
- ▽登録日 女子の部：9月23日（秋分の日）、男子の部：9月25日（日）
- ▽場所 市営日の出野球場
- ▽対象者 市内に居住または通勤するかたで編成したチーム（ただし、野球連盟、朝野球同好会に登録しているチームや学生は除く）
- ▽チーム編成 一チーム：14名
- ▽試合方法 トーナメント方式
- ▽申込先・期限 市総合体育館に所定の申込用紙がありますので、必要事項を記入のうえ、9月17日まで申し込みください。
- ※詳しくは、市総合体育館へお問い合わせください。（☎5552）

## NHK学園で あなたも学習を

NHK学園では、58年度秋の「社会通信講座」の受講者を募集しています。

この通信講座の利点は、リポーターの添削が中心で、だれでも自宅

たは、次のことを守るようにお願いします。

- 水泳帽子を着用してください。
- 3歳未満の幼児の使用はご遠慮ください。
- 幼稚園児などを同伴の場合、一般プールの使用はご遠慮ください。
- 閉館時間の30分前に遊泳を終了してください。
- 小・中学生の利用時間は、次のとおりです。
- ▽小学生：午後3時45分まで
- ▽中学生：午後4時45分まで

## 年金詐欺に「注意」

最近、年金をもらっている市内の老人家庭で、「お金を払うとより多くの年金が支給される」と話しかけられ、お金をだまし取られる事件が起きました。

このようなことは、現在の年金制度でも実施されていません。苦小牧市でも同じような事件が続発していますのでご注意ください。なお、不審に思われる来訪者がいたら市役所国民年金係（☎2111内線245）か室蘭社会保険事務所（☎0143124171）へご連絡ください。

## 新着図書案内

市立図書館 ☎4324



根釧原野（長谷川幸一）総理を叱る男（上之郷利昭）旅券のない旅（胡桃沢耕司）悪霊の午後（遠藤周作）文化行政とまちづくり（田村明）カーンバック・サーモン（小田淳）おとなにならない子どもたち（高橋勇悦）ボストンの小学校（梶田正巳）破局（斎藤茂男）天皇陛下のパン職人（渡辺藤吉）運命の八分休符（連城三紀彦）アイドルその世界（永六輔）恐怖の2時間（出口裕弘）考証風流大名列伝（稲垣史生）坂本龍馬の生涯（嶋岡隆）理想郷の子供たち（小松隆三）魔術館の一夜（泡坂妻夫）僕は犯人じゃない（榎下雄一）英国の子どもの本（本多英明）ウトナイの鳥（石城謙吉）禁酒時代（山口瞳）びいひやらどんどん（青島幸男）地の果て至上の時（中上健次）静かなノモンハン（伊藤桂一）動物たちの愛の詩（中川志郎）紅い陽炎（夏樹静子）真説忠臣蔵（森村誠一）見えなくても愛（河辺豊子）十八歳の滑走路（青野聰）氷河と蝶（河島英昭）絵島疑獄（杉本苑子）長い橋（水上勉）

## 救急車を正しく利用しましょう

救急車は次のような傷病者がでた場合に利用しましょう。

- 火災、地震、暴風雨などの災害による傷病者。
- 交通事故の傷病者や駅など公衆の出入りする場所での傷病者。
- ガス中毒、やけどなど屋内にお

いて生じた事故や急病などの傷病者。

- なお、つぎのような場合は救急車を利用しないようにしましょう。
- 緊急を要しない傷病者やタクシーなどで搬送できる傷病者。
- 精神病患者や傷害のない泥酔者。



9月9日は「救急の日」

### 市民啓蒙

## ふれあう心の合言葉

一、未来をつくる青少年の、健全な夢の有つまちをつくりましょう。

- ▽ 受付時間 午前7時～9時まで
- ▽ 実施月日
  - 10月13日：労働福祉センター
  - 10月14日：警別公民館
  - 10月15日：労働福祉センター
- ▽ 対象者 満35歳以上
- ▽ 定員 300名

## 青年の国内研修

### 参加者を募集

- 室蘭・登別・伊達の三市による胆振西部青年の国内派遣研修を次のとおり実施します。
- この企画は、青年団体活動先進地での視察、研修をとおして、青年団活動の中心となる青年リーダーを養成するために行うものです。
- ▽ 派遣期間 11月2日～5日
- ▽ 派遣先 名古屋市近郊
- ▽ 派遣人員 5名
- ▽ 研修内容 社会教育施設見学
- ▽ 検診料
  - 満40歳以上：千八百円
  - 満40歳以下で生活保護などをうけているかた：千三百円
  - 満35歳～39歳：三千六百元（登別市国民健康保険に加入しているかたは千八百円）
  - 申込先 保健衛生課（☎②111内線255）または各支所
- ▽ 申込先 保健衛生課（☎②111内線255）または各支所
- ▽ 対象児 58年6月出生児（婦人センターは、58年5月、6月出生児）
- ▽ 用意するもの 母子健康手帳、バスタオル
- ▽ 献血にご協力を
- 次の日程で街頭献血が行われますので、みなさんのご協力をお願いします。なお、四〇〇cc採血は、2111内線294）
- ▽ 指定施設 特別養護老人ホーム 緑風園（中登別町25317）
- ▽ 保護期間 7日以内（やむを得ない理由があるときは、必要最小限の範囲内で延長できます。）
- ▽ 費用 1日につき二千八百円
- ※ご希望のかたは、福祉事務所保護係へ申し込みください。（☎⑤2111内線294）
- ▽ 採用予定人員 約250人
- ▽ 受付期限 9月9日まで
- ▽ 第一次試験の期日 9月25日
- ※詳しくは、室蘭警察署（☎014312215191）または、も寄りの警察官派出所にお問い合わせください。

## 胃がん検診

現在、私たちの四人に一人は、がんで死亡しています。初期には、ほとんど自覚症状がないために、手遅れで発見される人も少なくありません。「胃には自信がある」という人も、年に一度は検診を受けて健康を確かめてみましょう。

## 3カ月検診

- ▽ 内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導
- ▽ 日程・会場・対象地区
  - 9月21日：婦人センター（登別・登別温泉地区）

## 献血にご協力を

献血者の意志を確認のうえ行いますので、誤解のないようお願いいたします。

## ねたきり老人の短期保護制度

この制度は、ねたきり老人のかたを介護している家族が、疾病、事故・慶弔などの特別な理由によって介護が困難となった場合に、老人のかたを一時的に特別養護老人ホームで介護する制度です。

## 北海道警察官を募集しています

- ▽ 受験資格
  - 学歴 A：大学卒業（短期大学を除く） B：A以外のかた
- 年齢 昭和31年4月2日から41年4月1日までに生まれた男子。

## 入校の事前相談を実施しています

- ▽ 国立身体障害者職業訓練校
- 身体障害者のかたで、技能修得のため、入校を希望するかたを対象に、次のとおり職業訓練相談を行っています。
- ▽ 相談内容 訓練内容の説明、希望科目の体験、訓練科目選定の相談など。
- ▽ 実施期限 59年3月中旬まで
- ▽ 日時 毎日午前9時30分から（あらかじめ、申し込みが、必要です。）
- ▽ 訓練科目 洋服科、製つくり科、電子機器科、経理事務科、建築製図科、時計修理科、製版印刷科、洋裁科、写植印刷科、木材工芸科、その他。
- ▽ 申込・問合せ先 国立北海道身体障害者職業訓練校（砂川市 焼山60番地、☎012255②2774または、②2776）

## 不用品ダイアル市



⑤2111 内線257

おわけします（売り）  
ダブルベッド、ベビーオマール、スピーカー、アンプ、プレーヤー、ステレオ、デッキ、自転車（大人用、小学生女子用）、ぶらさがり健康器、電気ギター、アンプ（電気ギター用）、ストーブガード、夏タイヤ、オートバイ（50cc）、大学入試用参考書、ガスオープン、8ミリカメラ、編集機（カメラ用）

ゆずってください（買い）  
二段ベッド、食品棚、うば車、ベビーベッド、ラジオカセット、テレビ、洗濯機、自転車（幼児用、小学生低学年用、婦人用）、婦人用三輪車、グローブ（大人用、子供用）、電気オルガン、エレクトーン、反射式石油ストーブ、温風石油ストーブ、電動ミシン、ワイド図鑑（小学生用）、百科辞典、カメラ、ゼンマイ式時計、ウォークマン。